

## カレッククのベンキマン？

### JSC 貿易部ニュース インド編

日に日に秋が深まり山々の木々も美しく華やかな季節となって参りました。  
皆様、如何お過ごしでしょうか。

さて、インドの新型コロナ感染者数ですが10月下旬で累計755万人となっています。  
1日あたりの感染者数も5万人前後と、依然日本とは桁違いの状況で推移しております。

インド政府公式発表ではないですが、ある専門家委員会の報告では「現時点で人口約30%  
がコロナに感染し、来年2月までには最大50%が感染する」という試算もある程です  
……(^\_^;

そんな大変な状況ではありますが、当社の協力工場やお世話になっている丁場、パートナ  
ーの方々、全員元気で仕事をしております。

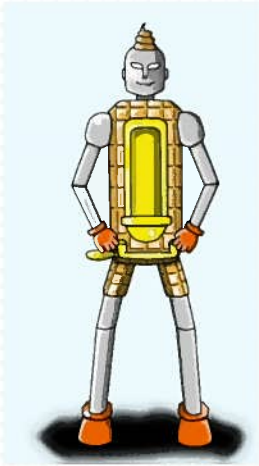
ニュースだけ見ていると数字のインパクトが独り歩きしてしまいましたが、現地では経済  
活動が継続されております。インドへの墓石製品・原石のご発注、安心してご依頼くださ  
いませ！^^

話は大きく変りまして、突然の今回のタイトル、「カレックク」と「ベンキマン」……  
なんだ、このタイトル？と思われる方も多いと思いますが、

キン肉マンが子供の頃ブームだった世代の方々には、  
この名前懐かしいですよ～

傷口にカレールーをすり込むのが得意技という(笑)  
インド代表の「カレックク」……。





そしてもう一人、どのような超人も便器に流してしまいましたが、キン肉マンのパンツを詰まらせてしまった(笑)「ベンキマン」……………。

この度、当インドメルマガに、満を持して、「カレックク」と「ベンキマン」を初登場させたのは、キン肉マンをリアルで見ていた世代の皆様と一緒に懐かしさを味わいたかったというのがありますが(笑)、今日は彼の出身地、「インド」の「トイレ」事情についてお話しをさせて頂きたかったからです^^

真面目な話、インドでは現在も便器を使わない生活を送る人々が6億人はいると言われています。

2014年にモディ首相が「スワッチ・バーラト (きれいなトイレ)」という目標を掲げました。5年間で1億2000万世帯にトイレを設置して「野外排泄をゼロに！」という壮大な取り組みです！

インドでは野外排泄による感染症の蔓延だけでなく、女性が被害にあう事件が多発するなどの問題も発生しておりました。

5年以上経ちましたが、トイレ設置も進んだものの汚物の回収コストが高いことやトイレ掃除の面倒さ、ヒンズー教の考え方の影響などもありまだまだ道半ばのようです。

私自身もインドで丁場に行く途中、幾度となく公衆トイレのお世話になりましたが、汚さと匂いから、目をつぶって息を止めてお世話になる事がほとんどでした(笑)

その点、大自然の中の青空トイレの爽快なこと…(^\_^;

モディ首相、すいません m(\_\_\_\_)m

今月号では、インドの雄大な風景もご紹介したいと思います。これまでインドの丁場の写真をご覧になった方はいらっしゃるかもしれませんが、大自然の様子をゆっくりご覧になった方は少ないかもしれません。丁場までの道のりは、日本では見られない風景がたくさん御座います。



そこで、インドの悠久の大自然の青空ベンキ風景をご紹介します。



幾千年変わらぬ風景の岩陰！ ^^



どこまでも広がる高原を背にする草むら！ ^^

さきほど少し触れましたが、ヒンズー教の影響が根強いインドでは、トイレは「不浄」なものとして捉える人々も多いようです。いまだ農村では設置を避ける人もたくさんおり、実際農村部では半分近い人々がトイレに頼らない生活をされているようです。



素晴らしい大自然です^^。確かに、このような広大な土地で水洗トイレが普及するのはもったいないような…

## さて、本題の石のお話です。

先月の当メルマガでもご紹介させて頂きました中国協力工場に入荷の通称：「白銀河」でございますが、おかげ様でご好評をいただいております。

「ポルトガル細目・SPI」の代わり、いやそれ以上の価値あるのが、この「白銀河」。



中国のパートナー工場からもリピートの原石注文を頂きました。売れている証拠だと思います。

現在インドの港で新たな原石の積み込み作業を行っており、中国へ向けて出港待ちでございます。

原石出荷作業の様子を写真でご紹介



中国での受け入れ・通関時に汚れがひどいと余計な費用が発生するので、まず港でしっかりと洗ってもらいます。

天場もしっかりと綺麗に洗います。



下場も綺麗に洗います。



シャワー^^を浴びた表面だけでなく、中身も綺麗な原石のコンテナ積み込みが完了いたしました！

お約束！^^安心のJSCマークです。

コロナ禍ではありますが、写真のように原石も、そして製品も輸出は継続しております。

ということで、皆様のご発注お待ちしております～。

今月号も最後までお読み頂き有り難うございました。

本格的な寒さに向かう時節、どうぞくれぐれもご自愛くださいませ。

2020/11/01